

## 参加してくれたキッズと保護者の感想 (一部抜粋)

認知症を少しは分かっていたけど、それ以外も知ることができた。目で見える(範囲)のがどのくらいかもわかったので、おどろかさないようにしたい。  
(小5・女)

認知症になったら、忘れっぽくなるんだなあと思った。でも、おじいちゃんとおばあちゃんが認知症になったら、あたたかい言葉を言おうと思いました。  
(小5・女)

認知症というのは聞いたことがあったけど、認知症の人の気持ちや大変さを今日はじめて知った。認知症の人たちにやさしく声をかけるなどの対応をしていきたい。  
(小5・女)



自分でおぼえているうちに紙に書いておいたら、認知症になっても安心できると思いました。  
(小5・女)

おどろかせたり、いそがせたりするんじゃなくて、笑ってあいさつをしたり「だいじょうぶ」と言っただけ。  
(小6・女)

認知症などのことをよく知れたので、認知症の人がいたらやさしく接してあげたいと思いました。  
(小5・女)

人にせめられていて悲しい気持ちになっている人をはげましたり、「だいじょうぶだよ」と言いたい。  
(小6・男)

大人も聞いていてすごく勉強になって、分かりやすかったです。さっそく家族に試してみます。  
(保護者)

孫と一緒に参加させていただきました。一緒に住んでいますが、意外な一面を見せてくれました。今地域で『子ども民生委員』をさせていただいていますが、今後の参考になると思います。  
(保護者)

とても参考になった。子ども達の反応がすばらしかった。ひとりでも多くの子どもたちに理解して欲しいと思える講座でした。  
(保護者)



認知症について『正しく理解』し、  
誰もが住みやすい日置市を目指しましょう！  
サポーター養成講座のご依頼  
随時受付中♪

こどものPTAで♪

地域の集まりで♪

サークル仲間で♪

職場の人たちと♪

お問い合わせ先

日置市地域包括支援センター

電話:099-248-9423

# 夏休みに小学5・6年生向けの キッズサポーター養成講座を開催しました 令和7年7月30日



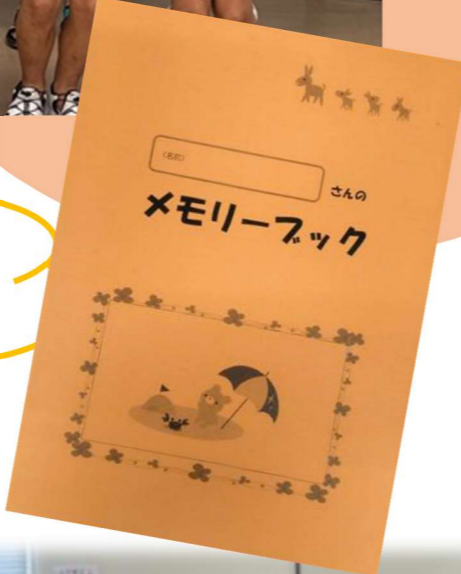
18名のキッズサポーター誕生！！



脳トレなどのクイズも入れた講座で、認知症の症状や、接し方について学習しました



大切な人のことを思い出しながら、メモリーブックを作成しました



サポーターの証である「サポーターカード」と施設の高齢者が作成して下さった「ロバ」のマスコットをお渡ししました

